

一般質問通告書

8年 8月 19日

弥富市議会議長 殿

弥富市議会議員

伊藤 千春

下記のとおり質問したいので通告します。

記

書画カメラ	☐ 使用する ☒ 使用しない（どちらかにレ点を付ける） ※通告書提出後は、議長に許可を得ること（口頭可）。
-------	---

件 名	やとみ放課後アカデミーの運営と地域全体での子どもの居場所づくりについて
質問項目 及び要旨 (具体的内容)	1.やとみ放課後アカデミーの運営と今後の地域展開について、以下を問う。 （1）休日部活動の移行ロードマップ（吹奏楽やドローン事業等）の進捗状況と、有料化に関する保護者への周知計画およびスケジュールについて問う。 （2）部活動の地域移行に伴う学校・教員の責任範囲の法的・実務的な切り分けと、保護者への説明責任について問う。 （3）本事業の運営目的の認識を問うとともに、保護者が「NPO の会員」として地域で子どもを支える当事者意識をどのように醸成していくのか問う。 （4）専門的な指導者の確保状況と、低賃金や負担増による離職を防ぎ定着を図るための処遇改善策や市独自の支援について問う。 （5）放課後の居場所づくりにおける、教育行政として大切にしている教育的理念や育成目標について問う。 （6）学校管理下外となる活動におけるスポーツ安全保険の補償内容の適用範囲や、事故発生時の連絡・請求フローの保護者への明示方法について問う。 （7）事業開始後、参加者・保護者の満足度や運営の質を評価し、次年度以降に反映させる PDCA サイクルのしくみについて問う。 2.生涯学習課が担う、地域全体での子どもの居場所づくりについて、以下を問う。 （1）部活動と学校教育の枠組みに限定せず、生涯学習の一貫として発展さ

	せるための学校教育課との連携を含めた総合的な位置付けを問う。 (2) 学校部活動の競技種目等にとらわれず、ドローン等の多様な選択肢を提供するための行政の支援環境整備について問う。 (3) NPO による柔軟な運営を安定した学びの場として定着させるための中長期的な財政的・制度的バックアップについて問う。 (4) グランドや体育館等の学校施設や公共施設を地域クラブが円滑に利用できるための、調整負担軽減と実務的ルール整備について問う。 (5) 有料化や参加費の発生に伴い、経済的理由から参加を躊躇する家庭に対し、経済格差に左右されない公平性を担保する具体的な負担軽減策を問う。 (6) やとみ放課後アカデミーによる NPO 運営と生涯学習課が推進する居場所づくりが両輪として連携し、将来の中学生たちにもたらす教育長の総括的な見解を問う。
答 弁 者	市長・教育長・担当部課長